

# 美しき紙

## 装飾料紙の世界

令和6年

4月10日(水)～6月24日(月)

越前和紙の里 紙の文化博物館

入館時間 9:30～17:00 (最終入館は16:30)※火曜日休館

入館料 300円(卯立の工芸館と共通)※高校生以下無料

料紙とは一般に書に用いる和紙のことです。

その歴史は奈良時代に始まり、雅で優美な王朝文化が開花した平安時代には金や銀、彩り豊かな染色を用いたきらびやかな装飾料紙が貴族の間で重用されました。本展では、あらゆる装飾技法を駆使した国宝「西本願寺本三十六人家集」の抄出複製を展示いたします。あわせて越前和紙の料紙も紹介します。1000年の時を越え、現代に受け継がれる技術、平安の女性たちが求めた高美な紙の美しさをお楽しみください。



▲左から貫之集下・躬恒集・友則集  
（「西本願寺本三十六人家集」抄出複製）



▲打雲（越前和紙）



▲墨流し（越前和紙）



# 美しき紙 装飾料紙の世界

2024年4月10日（水）～6月24日（月）

## 越前和紙の里 紙の文化博物館

越前市新在家町11-12 Tel.0778-42-0016

入館時間 9:30-17:00 入館は16:30まで ※火曜休館  
入館料 300円（卯立の工芸館との共通）※高校生以下無料

越前和紙の里  
ホームページ

